

令和3年度事業「西川町議会事務事業評価シート」
議会による事務事業評価（西川町議会）

No.	予算科目	事業名
2	6款1項7目	小水力発電事業

1 項目別評価

評価項目	評価点	意見等
1 必要性 ・町民にとって必要な事業か ・社会情勢からみて実施が適切か ・町が主体となって関与すべき事業か	21	脱炭素、脱原発において、地形を活かした水力発電は大切な事業である。本町にとっても、地域資源の有効活用面から必要性は高い。
2 妥当性 ・他事業とサービスが重なっていないか ・他自治体と比べサービスの対象、内容は適切か ・町民目線として適切か	22	電力は公共性もあり、また、本町にとってモデルケースとも言える事業であることから、町が事業主体として実施することは極めて妥当である。
3 効率性 ・事業の手法は効率が良いか ・コスト削減の余地はないか ・受益者負担は適正か	13	維持管理において、木の枝や落ち葉が取水口や発電機に詰まる回数が年30回前後あり町職員や土地改良区関係者の出勤回数が増えていたが、水路に蓋をしたことにより、今後は効率性が上がるものと思われる。冬期間の管理と合わせより効率化を図ってほしい。
4 成果 ・事業の目的が達成されているか ・前年以前と比較し成果は上がっているか	17	計画段階での試算より低いが、売電収入があがってきているため、成果は徐々に出てきている。今後は安定した売電収入となるようするべきである。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	1 きわめて良好である 100点	73
	2 良好である 75～99点	
	③ おおむね適正である 50～74点	
	4 問題がある 25～49点	
	5 かなり問題がある 1～24点	
	6 不適正である 0点	

3 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由
3	1 拡充する	小水力発電は脱炭素社会に向けた地球規模の取り組みである。災害などの緊急時に、町でも蓄電池に充電するなど、利用しやすい事業にするべきである。ただし、町職員や土地改良区関係者の負担とならないよう業者に委託するなど、負担軽減策を検討する必要がある。
	2 現状のまま維持する	
	③ 改善し継続する	
	4 見直しのうえ縮小する	
	5 期間設定し終了	
	6 廃止する	

4 評価に係る意見等

事業の総合評価に関する主な意見、特記事項及び今後の方向性の理由等
地元にももう少し還元できればいいと思う。また、除塵作業や冬期間の管理など、町職員や土地改良区関係者の負担とならないよう業務や設備について検討する必要がある。今後売電収入がどれくらい増えていくかわからないが、安定した収入となるようするべきである。